



しあわせの村 開村30周年 記念シンポジウム

記念企画
第1弾

しあわせの村は、1989年（平成元年）4月にオープンしました。来年4月には開村30周年を迎えることとなります。現在、来年の記念イベントが各種企画検討されていますが、その第1弾として11月8日にカレッジホールで、記念シンポジウムが開催されました。

この三十年を振り返り 今後に活かす



服部祥子学長 開会挨拶

私たちの愛する神戸が、より美しく、より生き生きと元気よく、未来に向かって歩んでいけるようシンポジウムを通じて考えましょう。

第1部 記念講演

“しあわせの村と この30年”

園田学園女子大学名誉教授

田辺真人先生

田辺先生のお話は明治維新や室町時代に遡り、生活文化の変化を熱く語られました。明治維新から150年。大きな変化はその前半に終わった印象があるが、実はこの30年の変化が大きいとの指摘が印象的でした。



- 1981年(昭和56年)11月 しあわせの村着工
- 1989年(平成元年)4月 しあわせの村開村
- 1993年(平成5年)9月 シルバーカレッジ開学
- 1995年(平成7年)1月 阪神淡路大震災
- 1997年(平成9年)7月 グループわ設立
- 2004年(平成16年)4月 グループわNPO法人化

第2部 パネルディスカッション

“シルバーカレッジが開く新しい世界”



パネルディスカッションは、服部学長がコーディネーターを務め、5名のパネラーの報告と質疑応答、そして最後には会場からの質問も受け付けて、シンポジウム参加者の認識の共有化が図られました。

グループわからは、みんなの食堂「なかみちこみち」島村代表、We love “もったいない” 富川代表、グループわ大槻副理事長が出席。活動報告に加え、率直な苦労話や問題点、今後の方向が語られました。

会場からもKSC入学が生き方を変える契機になったとのエールが送られ、出来る活動を続けたい等の声が出されました。最後にコーディネーターより、私たちの生活の場である地域社会を守るために、私たち一人ひとりに何ができるのか、共に考え共に行動しましょうとのまとめをいただき、シンポジウムは終了しました。

しっかり食べて、しっかり動いて、みんなで楽しく

フレイル予防
3ポイント

フレイル予防活動に サポーターとして参加しました

サポーターリーダー 北条佳代子
いつまでも元気で長生きしたいKSC卒業生、グループわと救急ボランティアのメンバーが一つの集団となり、神戸初のフレイルサポーターとして第一歩を踏み出しました。チェック会は同世代シニアの市民参加。どこが元気で、どこが元気でないかを調べていき、結果の説明になると参加者の後ろで頷くサポーター。自分も大丈夫かな？と、自分を見つめる



代表の北条さん
メンバー集合



機会になる時間だと感じました。そして2回のチェック会では「完成度が高い」とチームの評価を頂き、驚きました。元気でやる気のメンバーの底力は、きっとカレッジ生活やボランティア活

動で培われた力かと思います。神戸市の行政下での活動になりますが、学ぶことの多いこのサポーター活動をチーム力で頑張っていければと思います。

(本ページ編集：浜田)